

木が奏でる優しい音の世界を感じてみませんか？

ふくいコカリナアンサンブル

創立15周年記念コンサート

2025.10.5 日

ハーモニーホールふくい 小ホール
福井市今市町40-1-1 TEL 0776-38-8288

開場 13:00 / 開演 13:30

入場料 1,000円 未就学児は無料
全席自由



■ゲスト
マリンバ&パーカッション：
Pulse Du (平岡 愛子 山崎 智里)



■ゲスト
ピアノ：加藤 俊裕

■曲目

瑠璃色の地球
大樹の祈り
鳥の歌
etc.



ふくいコカリナアンサンブル&ゆかいな仲間たち

■チケット取り扱い
ハーモニーホールふくいチケットセンター(窓口販売のみ)
TEL 0776-38-8282

■お問い合わせ、チケットのお求めはこちら ⇒
ふくいコカリナアンサンブル
fukuikocarina@gmail.com



JR・ハピラインをご利用の場合

JR福井駅から福井鉄道福武線に乗り換え
ハーモニーホール駅下車 徒歩3分
※急行は停まりません

お車でお越しの場合

(金沢方面から) 福井ICから約15分 (名古屋、大阪方面から) 鯖江ICから約15分
※駐車場は600台分を無料でご利用いただけますが公演が重なる場合は混みあいます(近隣に有料駐車場はありません) 駐車場内のトラブルは責任を負うことはできませんのでくれぐれも御注意ください

主催：ふくいコカリナアンサンブル 協賛：(一財)三谷市民文化振興財団
後援：(公財)福井県文化振興事業団/福井新聞社/FBC/FM福井/(特非)日本コカリナ協会

■ゲスト奏者のご紹介

パルス ドウ

Pulse Du (平岡 愛子 山崎 智里)

2011年4月、福井県立武生東高等学校出身の先輩・後輩である、洗足学園音楽大学卒業の平岡愛子、愛知県立芸術大学大学院首席修了の山崎智里の、プロ打楽器奏者2人で結成。Pulseとは鼓動・拍などの意味を持ち、2人の息のあった、そして鼓動を感じて頂けるような演奏を念頭に掲げる。演奏ジャンルは多岐に渡り、マリンバ・パーカッションを多彩に操るアレンジは高い評価を得る。これまでに、福井新聞社主催「ちょっと素敵な音楽会」、エンゼルランドふくい「大人のためのプラネタリウム」など、様々なコンサートやイベント、依頼演奏に多数出演。また、「打Empathy」と題し、毎回テーマを決め県内各地で自主企画コンサートを展開し好評を得ている。2019年10回目、2022年20回目の記念コンサートをハーモニーホールふくいにて開催、2021年2月「結成10周年記念コンサート」をハピリンホールにて開催。

現在、越のルビーアーティストとしても活動中。福井県産のマリンバの魅力を広める活動を積極的に行っている。



加藤 俊裕



福井大学を卒業後渡独、ドイツ国立ヴェルツブルク音楽大学を経て、ドイツ国立エッセン・フォルクヴァンク芸術大学大学院修了。ピアノを竹下里香、伊原道代、越野正信、カール・ベッツ、アーヌルフ・フォン・アルニムの各氏に、室内楽をエフゲニー・シナイスキー氏に、フォルテピアノをグレン・ウィルソン氏に師事。

現在、仁愛女子短期大学幼児教育学科非常勤講師、NPO法人ふくい子どものための音楽教室講師・理事、福井県音楽コンクールピアノ部門審査員、混声合唱団福井コールアカデミー常任ピアニスト、(公財)日本ピアノ教育連盟会員、同北陸支部運営委員。令和元年度県文協奨励賞受賞。

ふくいコカリナアンサンブル



2009年6月7日、第60回全国植樹祭が福井県で開催されました。この植樹祭のために地元の子供たちと一般公募で集まった大人の総勢70名で【コカリナ隊・ふくい元気森オーケストラ】が結成されました。半年前から黒坂黒太郎さんの指導のもと練習を重ねて植樹祭式典で演奏を披露しました。コカリナ隊が使用したソプラノコカリナは、2004年の福井豪雨で決壊した足羽川堤防の改修工事の際に伐採された桜の木で作られたものです。植樹祭が終わって2ヶ月が過ぎたころ再結成の気運が高まり、ふたたびコカリナの音色を響かせる機会を持つことができ、今日の活動へと繋がっています。結成から15年を迎えられたことに感謝をして、素晴らしいゲストをお迎えして演奏をお届けします。県内で活動するコカリナサークルの皆さんと合同で演奏をしますのでお楽しみください。

【参加団体】

- ・ふくいコカリナアンサンブル
- ・パストラレー
- ・コカリナ・アンサンブルひがし
- ・コカリナアンサンブルよしの
- ・敦賀コカリナ教室

♪ わたしたちと一緒にコカリナを楽しみませんか？
見学をご希望の方はこちら⇒



♪ 個人レッスンもあります

講師 本多 嘉史

【風の森倶楽部】福井新聞文化センター



コカリナって？

ハンガリーの民族楽器である木製オカリナを、音楽家の黒坂黒太郎さんが日本に紹介し、改良を重ねて誕生しました。木の温かみのある音色が特徴で、老若男女問わず楽しめる楽器として人気があります。主に桜や胡桃、杉の木が使われます。木の種類によって音色が異なるのが魅力であり、楽器の大きさにより音の高さや音域も変わります。



「木の中を風が通りぬける音」のよう